



入れ歯、インプラントに次ぐ、 第3の治療法「ドイツ式特殊義歯」

院長 太田 裕明

太田歯科医院

住所	〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-36-10			診療科目	歯科
TEL	03-3943-8109	FAX	03-3943-4846	診療時間	平日 9:30~12:00/14:30~17:30 土 9:30~12:00/14:30~17:00
URL	http://www.ohtashika.net/			休診日	木・日・祝

残った歯を生かす ドイツ式特殊義歯

太田歯科医院が採用するドイツ式特殊義歯は、パネの代わりに残っている歯に接着剤で金属の冠を取り付け、その上にピッタリ合うように白い歯の形をした義歯をかぶせる。

この治療にはいくつかの特長があり、以下のようなことを目指して開発された。①手術が不要。②他人から「入れ歯」と気づかれにくい。③しっかりと噛み心地。④残っている歯に対する負担が少ない。⑤ぐらぐらして歯でも抜かずに作れる。⑥将来作り直しをせず、修理しながら長期間使える。⑦歯肉に当たって痛いということもほとんどない。⑧就寝時にも入れたまま眠れる。

「5種類あるドイツ式特殊義歯の中から、患者さんに適した方法を選んで治療しています。治療法や費用について詳しくご説明する無料相談を実施しております。」

ドイツ式特殊義歯の特長



大切な歯を守る 能力を持つ治療法

歯を失う原因は、単に「歯の磨き方が悪かったから」、あるいは「歯が弱かったから」だけではないと、太田院長は強調する。一部の歯に力がかかり過ぎて歯が抜けてしまうと、残っている他の歯にかかる力が増加する。そのことが原因でまた歯が悪くなるのだという。

「歯が何本か抜けてくると加速度的に歯が失われて行くわけです。しかしこの問題に

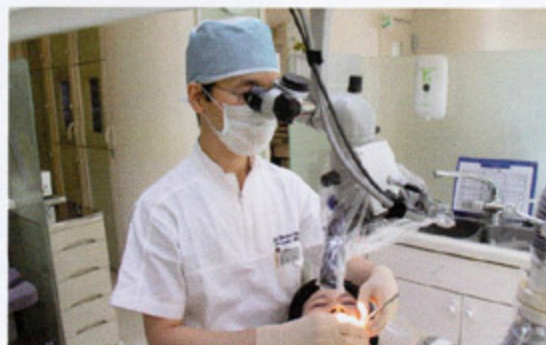
ついては現在の歯科医療では十分な対策がとられていないのが現状です」

ドイツ式特殊義歯は歯にかかる力のバランスをコントロールする上で、非常に有利な構造を備えている。通常であれば抜歯の対象となる歯も義歯の支えとして生かせる。義歯は連結しているのでも、残った歯一本一本にかかる力は小さいという。それまで日本ではあまり知られていなかった同義歯を平成9年に取り入れた太田歯科医院は、優れた技術の継承を使命と考え、多くの患者の要望に込

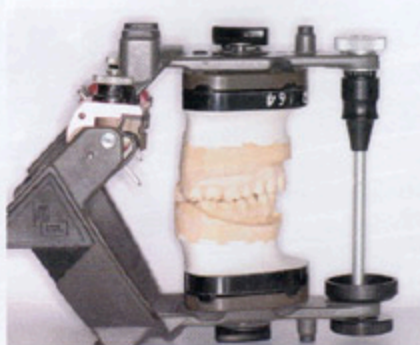
※ドイツ式特殊義歯は自由診療です。費用は写真のケースの場合70万円から90万円(歯の状況や症状により異なります。)

むし歯治療にも歯周病治療にもかみ合わせは重要

太田歯科医院は全ての治療にかみ合わせを重視した治療を取り入れています



術野を拡大できるマイクロスコープを活用し、精密な治療を心がける



患者一人ひとりのかみ合わせの状態を再現し、適切に診断する



かみ合わせの精密な調整のために特殊な装置を用いて検査を行う

歯を失う原因として細菌とともに見落としてはならないのが「歯にかかる力」だ。かみ合わせがしっかりしていれば力が分散されるので問題はないが、歯が抜けるなどバランスが崩れると、むし歯や歯周病も進行しやすくなる。

「金属などを接着している場合、再度その歯がむし歯になるリスクが高くなります。かみ合わせの調整を行っていないと、接着剤にヒビが入り、その隙間に細菌が繁殖して酸の濃度が高くなり、むし歯ができやすくなります。

細菌と『歯にかかる力』の両面から歯を失うのを防ぐ必要があります。当院ではかみ合わせの精密検査を行い、歯にかかる力の問題点を調べてから治療を行っています」（太田院長）

同院では歯を守るために、口全体のかみ合わせを0.01ミリの精度でコントロールすることで、治療の精度をさらに高める努力をしているという。